

令和元年11月吹田市公民館運営審議会議事要約

日 時 令和元年11月25日(月) 14時から

場 所 吹田南地区公民館 大会議室

委員出席者 秋山委員、芝原委員、松岡委員、亀田委員、永井委員、西尾委員、松本委員、中山委員

事務局出席者 木戸部長、落次長、小西課長、曾谷課長代理、田畑主幹、市場主幹、太田主査、稲垣主査
白澤主任、吉田係員

1 あいさつ

2 事業報告

(1) 地区公民館事業について・・・事務局より説明

(事務局) 資料のP1をご覧ください。各公民館の8月から10月の利用状況です。昨年度の同時期と比べると各館とも大きな動きはありません。トータルで1,000人程の増加でほぼ横ばいの状況です。地区公民館主催事業実施状況で、実施目的別では趣味・教養、健康づくり、子育て・青少年がこの順番で多く実施されています。8月は夏休みもあり、料理、工作等が多く実施され、特徴的なのはそろばん教室が11回も実施されました。夏休みは子どもにとって自由な時間があるので、各館子ども向けの講座を積極的に工夫して行われていました。10月に入ると秋を感じる芋掘り等の事業が行われ季節が変わっていくのが感じられました。

3 その他

(1) 北千里小学校跡地複合施設の進捗状況について・・・事務局より説明

北千里小跡地複合施設の進捗状況について

北千里小学校跡地複合施設進捗状況につきましてご報告いたします。

現在、複合施設の建設整備基本計画の策定を進めているところでございますが、策定にあたり、8月の運営審議会にて一部ご報告いたしました、広く市民の意見を聴取する場として、6月から10月に計6回、市民ワークショップを開催いたしました。また、広く皆様の意見をお伺いすることとして、大阪大学の学生とのワークショップや北千里高校の生徒さんとの懇談会、北千里地区の小中学校の児童、生徒に新しい施設でやりたいことなど、アンケートを実施いたしました。

本日卓上配付しております、こちらA3の資料をご覧ください。こちらはワークショップなどで皆様のご意見をいただき作成しました建設整備基本計画の素案から、主要な部分を抜粋したものでございます。

複合施設整備に関する基本的な方針でございますが、「複合施設による子育て、学びの拠点づくり」をコンセプトとした施設を整備し、「複合化により多世代交流が生まれる“マチナカリビング”」の実現を目指します。気軽に訪れ、家のリビングのように居心地よく、長い時間過ごすことができ、また、交流の場ともなる施設にしたいと考えています。下の各機能融合のイメージ図におきまして、複合施設の主な機能は公民館、図書館、児童センターですが、真ん中にございます、共用エリア機能として、入口からつながる共用玄関ホール、外部オープンスペースなどにより、マチナカリビングの実現を図ります。

右側、基本的な方針は、「誰もが利用しやすい施設」では、動きやすい動線や、出入りしやすいエント

ランスを設けるなど、ユニバーサルデザインに配慮します。駅側、東側道路からは、高い法面の上に施設が建設されるため、エレベーターなどを整備し、高低差を解消します。また事務機能は3機能の事務室を統合したワンストップ窓口、いわゆる総合事務室とします。また、入口、エントランスからつながる交流スペースを設けることにより、それぞれの機能をあわせた文化祭やロビーコンサートなどのイベントを開催し、あらゆる世代がつながり、交流できる居場所とします。

続いて「社会情勢や市民のニーズの変化に対応できる施設」です。現在、北千里地区は高齢者が多い地区ですが、高層住宅への建て替えが進められており、今後は子育て世代が増加することが見込まれております。長期にわたって使用できる施設とするために、利用者構成や市民ニーズの変化にフレキシブルに対応できるよう、可能な限り諸室を共用できる施設といたします。また、皆様の意見や、千里北地区センターの再整備、敷地北側及び西側との連携、動線を見据えて設計に反映いたします。

続いて「地域の安全・安心を支える施設」としまして、公民館は災害時の避難所に指定されており、この複合施設には自家発電設備を設け、必要な範囲の72時間分の電源を確保したいと考えています。また、太陽光発電による電源も確保します。続いて「環境に配慮した施設」としまして、地球温暖化対策や暑熱環境対策に配慮した施設とするために、再生可能エネルギーを用いた環境配慮型設備等を導入します。また、能勢町産材をはじめとした府内の木材を中心に、国産の木材を使用し、木のぬくもりを感じるような施設にします。続いて「景観に配慮した施設」です。北千里地区は、公園、道路などが計画的に整備された千里ニュータウンの北のターミナルであり、緑豊かな環境が保たれ、落ち着きのあるまちなみとなっています。北千里駅周辺のにぎわいが感じられつつも、緑豊かで落ち着いた住宅地のある環境に調和した景観をはぐくみます。

最後に「経済性に配慮した施設」としまして、複雑な形状とせず、シンプルな建物形状とします。各施設の部屋や共有スペースを有効活用するなどして、建設費であるイニシャルコスト、施設の維持管理費であるランニングコストの低減を図ります。複合施設の整備計画としまして、敷地概要は、阪急北千里駅にある千里北地区センターの西側に位置しています。敷地面積は北千里小学校の校舎跡地の約半分程度で約5,200㎡、延床面積は2,700㎡程度としています。右側、各機能の必要諸室はこちらのとおりです。共用エリア機能としまして、共用玄関ホール、共用エリア他、利用に際して必要な諸室を設けます。幅広い世代が集い、多目的な利用ができる明るい空間を設け、地域コミュニティの醸成、にぎわいの創出を図ります。

統合事務室機能としまして、3機能の事務室を統合したワンストップ窓口、総合事務室を設けます。

児童センター機能としましては、国の整備及び運営に関する基準や、市の運営要綱に基づき、必要な諸室を設置します。

乳幼児室等については、児童センターで利用しない場合は、乳幼児・保護者向けの子育て支援事業を行える相互で利用可能な施設配置を行います。

公民館機能としましては、少人数のグループ活動からたくさんの方が参加する講座や、文化祭などのイベントにフレキシブルに対応できるような諸室を整備します。

図書館機能につきまして、図書館のイベントを優先した会議室は、複合施設内の他施設へ貸出可能とし、利用がない場合は要望の高い学習室として開放できるよう「学習室兼会議室」の整備を検討します。

一番下の段、北千里小学校メモリアル機能としまして、旧北千里小学校を卒業した児童や保護者、地域住民が、施設を訪れた際に当時は懐かしむことができるよう、写真等を展示するとともに、記念物品を保管できるよう倉庫を設置します。

資料2枚目をご覧ください。建物配置でございますが、建物周囲にはオープンスペースや児童センター

のわんぱく広場などを設け、施設内部空間と一体利用することで、バランス良く、ゆとりのある空間とします。また、このオープンスペースやロータリーなどのバックヤードスペースを設けることで、将来、駅前からの歩行者動線を敷地周囲へとつなげることができ、駅前からの連続した歩行者空間を創り出します。右側、平面計画の考え方としてはこのようになっております。施設のコンセプトを実現するために、図書館を施設全体の共用部と考えて、駅側からの入口寄りに図書館、セキュリティの必要な児童センター、わんぱく広場を奥に、3施設の事務機能を統合した総合事務室を1階に設けます。

公民館については、目的を持って訪れる方が多いため、2階に集約して配置します。最後に、スケジュールについてはこちらのとおりです。基本計画素案につきましては、現在、パブリックコメントを12月19日まで募集しているところでございます。そして皆様からいただいた意見を集約し、基本計画を策定し、令和元年度中に基本設計を作成します。令和2年度にかけましては、実施設計を行います。

して、令和3年度から建設工事に着手し、令和4年度の完成、公民館および図書館の移転、そして新しく児童センターの開設準備を行い、令和4年度に共用開始したいと考えております。北千里小学校跡地複合施設の進捗状況については以上でございます。

(副議長) 公民館が移転した後の跡地はどうなるのですか。

(事務局) 北千里駅前再開発時まで市が保管するという事になっております。

(A委員) 北千里小学校跡地の件や駅前開発についてもいつになるのかという事が住民の思うところでは。北千里小学校跡地の利用方法もやっここまできたかという感じで早く完成して欲しいと思います。また、北千里小学校跡地の施設は若い人たちが利用しやすくなるよう努めて頂きたいと思います。

(B委員) 児童センター機能と図書館機能が同じフロアになると図書館で勉強している者の妨げにはなりませんか。

(事務局) 児童書コーナー以外は壁で仕切っておりますので、騒音についての苦情はないと考えています。

(副議長) 今回の件の金額はいくらになりますか。

(事務局) 建物の整備に関しまして18億円です。

(副議長) 北千里地区公民館が立派になれば他館からの要望も多くなるのではと思います。吹六地区公民館についてはエレベータ設置はできないのですか

(事務局) その点については課題として認識しております。

(B委員) 吹田第六小学校の児童数が減ってきているのでグラウンドの一部を保育所、公民館に充てるのはどうですか。

(事務局) 吹田市は就学児童が増えてきているので、当分は義務教育施設優先になります。全国的にみて人口減少傾向にありますので吹田市も将来人口減少が予想されます。その時に、学校と公民館の複合施設の建設があるかなと考えています。

(2) 吹田南及び山手各地区公民館の概要について・・・事務局より説明

(事務局) 吹田南地区公民館について、概要をご説明させていただきます。吹田南地区公民館は敷地面積400㎡、鉄骨造2階建、延床面積366.7㎡となります。1階に大会議室、事務室、そして2階には小会議室、調理実習室、倉庫を配置しています。1階2階の会議室はそれぞれ可動間仕切りで区切ることができ、部屋の使い方によってレイアウトできるように計画しました。吹田南地区公民館の大きな特徴の一つに、他の公民館と違い、初めから「和室」は計画しませんでした。これは、公民館建設準備会との協議・打ち合わせの段階で、限られた面積の中で、会議室の確保を優先してほしいという要望があったためです。ただ、和室の機能として、軽量の畳を準備して、2階小会議室を間仕切りした際にちょうど埋ま

るように床面積を調整しています。続きまして、もう一つの特徴としまして、陶芸窯室があります。北部は北千里地区公民館、南部は吹田南地区公民館のみ設置されているものです。これによりまして、吹田南地区公民館でも陶芸サークルの活動が活発で、他館と違い、様々な作品が制作されています。

山手地区公民館について、概要をご説明させていただきます。山手地区公民館は敷地面積817㎡、鉄筋コンクリート平屋建1階、延床面積は併設されています高齢者いこいの間と合わせて472.6㎡、公民館部分だけは約397㎡となります。山手地区公民館では、この敷地面積を生かしまして、公民館として必要な部屋及び部屋面積を平屋構造の中に収めることができました。山手地区公民館は、“スケルトン・インフィル”という発想を取り入れて設計されています。建物を支える構造躯体と内装・壁や設備を別にする事で、将来、利用方法の変化によって大きく間取りが変わっても対応が可能な構造となっています。2階以上の建物比べ階段やトイレなど共用部分を少なくでき、数値的にも延べ床面積は少ないですが、他館と比較しても変わらない部屋面積が確保できました。また、平屋構造はバリアフリー面でも、上下移動がないため、評価を頂いています。山手地区公民館の大きな特徴としまして、大会議室の北側壁面を生かしまして、手動式の収納舞台を設置しました。これは、建設準備会との協議の中で、部屋の配置や使い方の要望をお聞きする中で、設計に取り入れさせていただいたものです。また、大会議室には、可動間仕切りを設け、大会議室が、様々な行事、利用方法に対応できるようにしました。今後も、公民館主催講座、いろいろなサークル活動、地域住民の学習活動に利用していただけるよう期待しています。続きまして、もう一つの特徴としまして、倉庫部分ですが、1か所に集約しましたが、倉庫面積をより活用できるようにロフト構造を採用して、収納力を上げました。

(議長) 公民館の予約は1か月前ですか。それより早く予約できますか。

(事務局) 一般利用は1か月前から、公用はそれ以上前から可能としています。

(副議長) これは全館共通ですか。

(事務局) 全館共通です。

(3) 次回会議の日程・・・事務局より説明

(地域教育部長) 本日はありがとうございました。文化祭では私も色々な公民館を見学させていただきました。また、私も地域住民として豊一地区公民館のスタッフとして参加させて頂きました。それぞれの公民館で来館者は笑顔で来られていまして、やはり地域活動はいいものだと思っております。その地域活動のベースは公民館だと思っております。そのために我々も努力をしておりますので、これからも貴重な御意見を頂けますようよろしくお願いいたします。本日は誠にありがとうございました。

次回会議の日程・・・令和2年2月17日(月) 午前10時から開催

吹田市教育委員会 大会議室(さんくす3番館 4階)

閉会挨拶 副議長

— 終了 —